

竹馬の技のお披露目



11月17日(金)に年長が取り組んできた竹馬の技を年中や年少の皆さんにお披露目する竹馬披露会を実施しました。

振り返れば、10月14日(土)に竹馬づくりをして約1カ月が経過しました。その間、年長の子供達は、登園するとすぐにお家の人と一緒に作った愛情たっぷりのマイ竹馬を持ち出して練習をしていました。くる日もくる日も、練習を繰り返し、徐々に上手に乗れるようになっていく姿が印象に残っています。

披露会当日は、あいにくの雨模様で肌寒い風が吹き抜けていました。ピロティにコースを設定し披露会が始まりました。



<コースで技の披露>

まずは、3~4人のグループごとに名前を呼ばれて披露会がスタートしました。最初は階段の上り下りです。結構な段差がありますが、子供達は、器用に上り下りすることができていました。クリアすると応援している年中や年少から大きな拍手があがりました。



<終わって一息>

次は、技を披露するゾーンです。ここでは、自分でチャレンジする技を披露します。回ったり、ジャンプしたり、カニ歩きをしたり、後ろ歩きをしたり…子供達は果敢にチャレンジし、大喝采を浴びていました。



<高くなったよ>

最初は、下から1つ目の節だった高さも、竹馬が上達するにつれ段々と高くなっていました。

年中や年少は、これまで園庭等で練習している姿は見ていましたが、間近で真剣な年長の頑張っている姿を見て、感動したのではないかと思います。年長になったら、運動会のソーラン節に続いて、竹馬もやってみたいと思ったのではないのでしょうか。引き継がれた(伝統)瞬間です。



年長：「園長先生、乗れる？貸すよ、はい。」

園長：「簡単だよ。子どもの頃、乗って遊んでいたから。どれ…」

園長：「えっ、うそ。手が震えて、足を乗せる台が回る…」

てなわけで、上手に乗れませんでした。でも小学校3,4年の頃、竹馬を作って乗っていたのは事実です。何しろ、竹馬は「昭和時代の昔の遊び道具の一つ」だったからです。この竹馬にはどんなメリットがあるのでしょうか？

●バランス感覚がつく…バランスを取りながら手足を上手く動かさなければ上手く乗れません。何度も乗るうちに、子どものバランス感覚が養われていくと言われています。

●体幹が鍛えられる…絶妙なバランスを保つために腹筋と背筋を無意識に使うことになり体幹を鍛えています。体幹が鍛えられると、姿勢が良くなり、椅子にもきちんと腰掛けられるようになるそうです。

●何よりも自信が得られる…竹馬に乗れるようになると、走ったり、回ったり、ジャンプしたり…と色々な事にチャレンジしてみようという意欲が湧いてきます。一つずつ、できるようになることで、子どもは、どんどん自信を深めていきます。

お部屋開放



「お手伝いに参加して皆さんと交流したいけど、小さい子がいるので、なかなかできない…」という声に、保護者会の粋な計らい。朝登園された際に弟妹のお子さんと一緒に、ゆっくり交流ができるように、お部屋を開放してありました。保護者会の素敵な取り組みだと思います。玩具で遊んでいる子ども達を目で追いながらも、遊び場のエリアごとに、あちらこちらから話し声が聞こえてきました。

インフルエンザ<寒さ増す中、警戒>

福岡県医師会は、インフルエンザの最新の感染状況を発表(11/15)し、前の週に比べて108%(わずかに増えている)としました。新型コロナは前週比85%で、減少傾向にある一方、咽頭結膜熱(プール熱)は、全国平均患者数の2.7倍と流行が続いています。今後も要注意です。